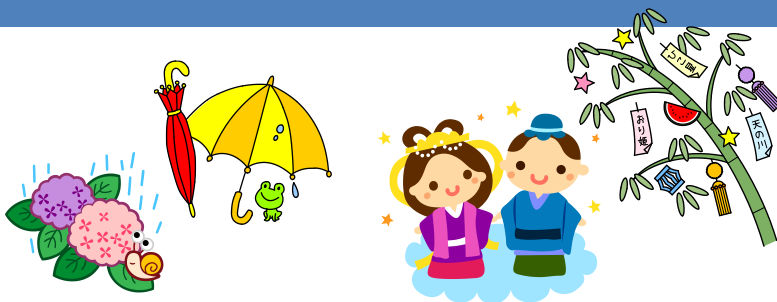


水通信



2025.6.27 第204号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

目次

※目次の事業所名等クリックすると、その事業所等の記事に移動します。各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆【巻頭言】 1 頁

- 出会いとコミュニケーション
中部支社 次長 清水 泰

☆【中部管内水源情報】 2 頁

☆【インタビュー】 3 頁

☆《新着情報》

中部支社 6 頁

- 管内事務所が総管化されてから初めての洪水対応演習を実施しました！！
- 「木曽三川連合総合水防演習」に出展しました
- 「水道週間」において水資源機構事業の紹介を実施しました
- 愛知県常滑市の西之口海岸の清掃活動を実施しました

木曽川上流ダム総管理所 10 頁

- 今年も格闘！「オオキンケイギク」の駆除を行いました（阿木川ダム）
- 「アメンボクラブによる水源地保全活動」が行われました（岩屋ダム）
- 「JBCF 第1回木祖村タイムトライアル&ロードレース」が開催されました（味噌川ダム）

[木曽川中下流用水総合管理所 12頁](#)

- 所長あいさつ

[愛知用水総合管理所 13頁](#)

- 熱中症防止対策にかかる講習会を開催しました

[揖斐川・長良川総合管理所 14頁](#)

- 揖斐川町と「徳山ダム管理用光ファイバケーブルの利用に関する協定」の締結（徳山ダム）
- 7年ぶり！！施設見学会の開催！！（長良川河口堰）
- 長良川の水源涵養に向け苗木の植樹を行いました（長良川河口堰）

[豊川用水総合管理所 17頁](#)

- 宇連ダムで水神祭が挙行されました
- 「しんしろクリーンフェスタ2025 春」に参加しました
- 530（ゴミゼロ）運動に参加しました

[☆【編集後記】 19頁](#)

- 担当課 中部支社 総務課

巻頭言

○ 出会いとコミュニケーション

中部支社 次長 清水 泰

4月1日付けで中部支社次長に着任しました清水と申します。中部管内では、愛知用水、徳山ダム、味噌川ダム、豊川用水を勤務して参りました。

私が大切にしていることは、「人との出会い」です。生まれてからどれだけの方と出会ったのでしょうか。幼少期から学生時代、そして水資源開発公団（現 水資源機構）に入社し今に至るまで。それは両親を始めとする家族、友達、先輩、恩師等。水資源機構へ就職してからは、職場の上司、同僚、後輩、そして関係機関のみなさま、関係者のみなさま、地元地域のみなさまとの出会いです。この出会いにより自分自身を成長させ、人生を豊にさせていただいていると思っております。時には厳しい場面も多々ありましたが、周りの方に支えられなんとか乗り切ってきました。仕事は一人ではできるものではなく、生きていくのも同じで、支え合いながらですね。



その出会いをより意味深いものにするのが「コミュニケーション」だと思っております。顔を合わせ、言葉を交わし、耳を傾け、私たちは他者を理解し、共感し、そして信頼関係が築かれます。特に、情報過多な現代において、真の出会いと質の高いコミュニケーションの価値はますます高まっていると思います。デジタルツールが普及し、メール、チャット、SNS、web会議等、手軽に繋がれるようになった一方で、表層的な繋がりで終わってしまうことも少なくありません。だからこそ、対面により目の前の相手と真摯に向き合い、心を開いて対話することで意思疎通ができる重要性を再認識したいものです。

それぞれの出会いには、その場面でしか得られない貴重な学びがあり、私の価値観や人生観に大きな影響を与えてくれました。人との出会いは、私たちの内なる可能性を引き出し、新たな道を切り開く力を与えてくれます。そして、そうして得られた経験や感情こそが、私にとって何物にも代えがたい「財産」となっています。

水資源機構は、ダムなどの水源施設から水路ネットワークまでを一体的、広域的に管理し、国民生活や社会経済活動に欠かせない水の安定供給と国民の生命と財産を守る重要な使命を担う組織です。この使命を全うするには、関係機関のみなさま、地域のみなさまのご理解とご協力がなくては成り立ちません。今後も、水資源機構に関係するみなさまとの出会いを大切にし、顔の見えるより良いコミュニケーションに心がけたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける6月26日現在の降雨量及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の4月～6月の降雨量は阿木川ダムで平年を上回る状況（平年比106%）、岩屋ダムで平年と同程度（平年比100%）、牧尾ダム、味噌川ダムで平年を下回る状況（平年比90%）となっており、4ダム合計の貯水率は96%（平年比116%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの4月～6月の降雨量は、平年を上回る状況（平年比108%～125%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は94%（平年比117%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける4月から6月の降雨量及び利水貯水率（6月26日現在）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨量 4/1～6/26	594	534	548	738	802	825	1,124	841
平年比 (%)	(89.5)	(106.2)	(90.3)	(99.6)	(108.4)	(124.6)	(183.4)	(112.7)
利水貯水率 (%)	90.2	99.9	100	100	94.2	97.0	100	100
平年比 (%)	(129.0)	(112.0)	(102.6)	(112.9)	(126.4)	(109.0)	(125.8)	(100)

※降雨量の平年比の分母は4/1～6/26の平年値を使用して算出。

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

https://www.water.go.jp/chubu/chubu/suigen_jouhou.html

インタビュー

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、揖斐川・長良川総合管理所に勤務されている設備課の森さんに、これまでの経験や業務内容などについてお話を聞きました。



〈profile〉

森 雄大（もり ゆうだい）
鹿児島県熊毛郡中種子町生まれ（26歳）
令和5年度入社
揖斐川・長良川総合管理所 設備課勤務
現在主に長良川河口堰の機械設備工事・点検の監督・発注業務等を担当

設備職に従事されていますが、もともと機械などに関心を持つようになったきっかけなどありますか

ー前職で機械を扱う仕事を担当した経験を通して関心を持つようになりました。

大学では農学について学んでおり、前職も農業関係の仕事をしていたので、もともとは機械について全く興味はありませんでした。しかし、前職で農業関係の機械を扱う機会がある部署に配属され、機械を分解したり動かしたりして、その奥深さを知ったことで関心を持つようになりました。

水資源機構を志したきっかけは何ですか

ーダムや水路にあるゲートやポンプなどスケールの大きい機械設備の管理に従事できるというのが1番の理由です。また、私たちが生活していく上で必要不可欠な「水」の供給を支える公益性の高い業務にやりがいを感じ、志望しました。

現在、どのような業務に従事されていますか

ーゲートやポンプの工事・点検業務の監督・発注や船舶の管理などを担当しております。

また、長良川河口堰が今年で管理開始から30周年ということでイベントの対応や見学に来られた方々の案内等も行っております。

まだまだ不慣れな点も多いですが、上司や周りの方々に助けていただきながら業務を進めております。



■地元中学生の案内

(長良川河口堰のゲート巻上室にて)

担当業務を通じてやりがいや大変だったこと、失敗談などありますか

また、業務を通じて日頃感じることなどありますか

ーやりがいを感じたことは、初めて機械設備の不具合を復旧できた時です。そのときは、ゲートの下に異物が噛み混んだ時に発生する「ロープ弛み」という機械職ではよく対応する基本的な不具合だったのですが、自分でゲートを操作して無事に復旧できたときは、とてもやりがいを感じることができました。

小さなことでも自分で考えて経験して得た成功体験は、何よりも自分の力になると思うので、このような経験を積み重ねて成長して行きたいと思います。

失敗談としては、入社1ヶ月でNotesの掲示板に不具合を生じさせてしまったことです。Notesの使い方に慣れていなかったことが原因でした。Notesに慣れてきたと思ったら、次はSharePointに移行するということなので、IT担当からのミッションを確実に実行し、間違った操作をしないように気をつけようと思います。

今後携わってみたい業務など将来に向けて抱負などありますか

ーダム再生事業などは、今後増えていくと予想されますので携わってみたいと思っています。

最近のエピソードがあれば1つお願いします。

ー最近、体重が100kgを超えました。太りすぎたせいで事務所の軽トラのシートベルトが締められなくなりそうになったり、安全帯がきつくなったりして、仕事にも支障をきたしそうになっているので、ダイエットをしないと～と思っています。

多忙な日々だと思いますが休日の過ごし方を教えてください。

ーおいしい食べ物を食べに行っています。静岡県にある「さわやか」というハンバーグ屋さんには定期的に通っています！休日だと並びますが是非行ってみてください！

おいしい食べ物を食べている時間は、嫌なことも忘れられるので良いストレス解消になっています。



■「さわやか」のハンバーグは最高！！

本日は忙しいところありがとうございました。
今後とも新しい技術を取り入れながらますますご活躍ください。

〈あとがき〉

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応じていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



ブレイクタイム 方言特集 愛知県その2（三河弁）編

【 次の方言の意味はなんでしょう 】

- ①えざらかす、②おいでん、③こましゃくれる、④だちかん、
⑤ほんだもんで、⑥やぐい、⑦きりん、⑧どきん、⑨せんしょこき、
⑩たいげ

※意味は最終ページにあります

《新着情報》

中部支社

○ 管内事務所が総管化されてから初めての洪水対応演習を実施しました！！

5月8日（木）、9日（金）の2日間、中部支社管内8事業（10施設）において、洪水対応演習を実施しました。

この演習は、本社、中部支社、各事業所間における情報伝達方法等の確認及び作業の習熟を図ることを目的として、毎年洪水期の前に実施していますが、今年度は、管内の事務所が総管化されてから初めての演習となります。

演習内容は、防災体制発令等の情報伝達、事前放流操作の関係機関との情報伝達、異常洪水時・特別防災操作に係るWEB会議システムを利用した承認・報告等手続き、リアルタイム広報等の資料作成、木曽川洪水予報伝達（中部地方整備局と連携）を行いました。

今後の突発的な風水害に対しても職員が的確に判断し素早く行動ができるよう準備するとともに、この演習で得られた成果を活かしてまいります。

※. 令和7年4月から、管内の各事務所は総管化され、木曽川上流ダム総合管理所（岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム）、木曽川中下流用水総合管理所（木曽川用水、三重用水）、愛知用水総合管理所（変更なし）、揖斐川・長良川総合管理所（長良川河口堰、徳山ダム、長良導水、木曽川水系連絡導水路）、豊川用水総合管理所（名称変更のみ）の5つの総合管理所で業務・事業を実施しています。



■洪水対応演習の実施状況

○ 「木曽三川連合総合水防演習」に出展しました

5月25日（日）、国土交通省中部地方整備局、岐阜県、愛知県、三重県、岐阜市、関市、羽島市、瑞穂市、海津市、木曽川右岸地帯水防事務組合が主催する「木曽三川連合総合水防演習」に水資源機構からも出展しました。

この演習・訓練は、木曽三川流域における洪水被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と、防災関係機関が相互に連携した各種訓練による防災体制の確立を図ることを目的として、毎年洪水期の前に実施されています。

会場では体験コーナー、災害時に活躍する車両展示、防災に関するパネル展示、災害時の通信確保など防災や災害対策について学べるコーナーが設けられており、水資源機構もブースを設けました。

ブースでは、徳山ダム、長良川河口堰について各施設の概要や必要性等をパネル等で紹介するとともに、災害時に役立つ可搬式浄水装置の搭載車両の展示を行い、水資源機構事業のPRにもつながったと考えています。



■ ダム・堰の事業の施設紹介及び車両展示

○ 「水道週間」において水資源機構事業の紹介を実施しました

6月1日（日）、名古屋市上下水道局が主催する「なごや水フェスタ」が鍋屋上野浄水場（名古屋市千種区）において開催されました。本フェスタは6月1日～7日の水道週間に合わせて毎年、浄水場を開放して開催されており、水資源機構からも木曽川上流ダム総合管理所及び揖斐川・長良川総合管理所との共同でブース出展を行い、名古屋市の上水道に関わる岩屋ダム、味噌川ダム、徳山ダム、そして、今年7月に管理を開始して30年を迎える長良川河口堰等の施設の紹介や役割などを説明しました。

また、現地の施設を訪問しなければ貰えないダムカードを紹介する展示は多くの方の興味を引き、設置したダムカード枠を模したフレームを使ってダムの画像を背景に写真を撮って頂きました。当日は、風はあるものの天候に恵まれ、フェスタには多くの親子連れの来訪者がありましたが、水資源機構のブースは比較的シニア層の来訪が多く、水道の水源についての認識を深めて頂きました。



■ なごや水フェスタの出展ブースの様子

また、広報活動の一環として、愛知県企業庁が行う知多浄水場（知多市佐布里）の一般開放に合わせて知多浄水場近くにある「水の生活館」の2階フロアーの一部をお借りして長良川河口堰管理開始30周年に係る施設・役割の紹介のパネル展示を6月末日まで行っています。

水道週間の6月1日及び7日には機構職員の説明者を配置し、来訪する小さなお子様からご年配の方々まで幅広い年齢層の方々へ、パネル等を用いて長良川からの水が知多地域（4市5町）に水道用水として供給されていること等を説明しました。役割を全く知らない方々がいましたが、改めて管理運用30年となる長良川河口堰について、知っていただくよい機会になりました。



■ 水の生活館展示ブースでの説明の様子

○ 愛知県常滑市の西之口海岸の清掃活動を実施しました

海ごみゼロウィークに合わせて清掃活動を実施しました。この活動は、5月30日（ごみゼロの日）、6月5日（環境の日）、6月8日（世界海洋デー）の3つの記念日を含む5月30日から6月8日までの期間を「海ごみゼロウィーク」とし、全国一斉キャンペーンを開催しています。

今回、「海ごみゼロウィーク」として、中部支社では昨年に引き続きボランティア隊を結成し、6月7日（土）に愛知県常滑市の西之口海岸の清掃活動を実施しました。

当日の天候は、当初は曇り空、次第に晴天になり、風もなく少し汗ばむ日和でした。参加者は機構ボランティア隊51名、一般の参加者7名の合計58名で海岸清掃活動をしました。さらに、海岸清掃のテーマソング（クリーン²・シーサイド）の弾き語りが披露され、皆様一緒になって手拍子、合唱と盛り上がりました。

当ボランティア団体での「海ごみゼロ」の今回の清掃活動は、これまで3回開催された中で参加者が一番多く、ゴミ袋の回収も最多（常滑市ボランティア袋30袋（ペットボトル、空き缶、その他））となりました。海岸がとても綺麗になり、海も喜んでいると思います。

今後も流域圏の山（森）・川・海は一体でつながっているという認識を深め、海岸環境の改善に寄与することを目的として、海岸清掃などを継続して実施してまいります。



■清掃活動の様子



■収集ごみを前に集合写真



■海ごみテーマソング
を披露する清水次長
動画はQRコードを読み
取ってください



木曽川上流ダム総合管理所

○ 今年も格闘！「オオキンケイギク」の駆除を行いました（阿木川ダム）

阿木川ダムでは特定外来生物に指定されている「オオキンケイギク」の駆除活動を行っています。5月末に1回目の駆除活動を行い、約100kgの駆除を行いました。これまでの駆除で減少傾向ではあるものの繁殖力が強く完全な駆除にはまだまだ道のりは遠く、今後も定期的な巡視等で確認をしながら根気よく駆除を行い地域の環境保全に努めていきます。



■ 駆除活動の様子



■ 駆除の成果

○ 「アメンボクラブによる水源地保全活動」が行われました（岩屋ダム）

5月17日（土）、岩屋ダムの水源地保全活動として名古屋市上下水道局のサポーター組織「アメンボクラブ」の会員が岩屋ダムに来所されました。平成19年から続いているこの活動は例年、ダム湖周辺での植樹活動及び岩屋ダム建設に際し移転していただいた卯野原神社境内の清掃活動を行っていますが、当日は降雨のため、残念ながら現地での作業は見送ることになりました。

代わりに、雨天時のプログラムとして準備していた、岩屋ダム建設時のビデオ鑑賞、操作室やゲート室、展示館等の見学をして頂きました。

水源地保全活動にご参加いただいたアメンボクラブの皆様、水源地域のために企画・運営をしていただいた名古屋市上下水道局の皆様、並びにご協力をいただいた下呂市の皆様へ心より感謝申し上げます。



■ 岩屋ダム建設のビデオ観賞の様子



■ 岩屋ダム展示館での見学

- 「JBCF第1回木祖村タイムトライアル&ロードレース」が開催されました
(味噌川ダム)

5月10日(土)～11日(日)にかけて、味噌川ダムの湖岸道路をコースとして「JBCF第1回木祖村タイムトライアル&ロードレース」が開催されました。湖岸道路の道幅はそれほど広くはありませんが、起伏に富んでいることから日本有数のタフなコースとして知られているそうです。初日は小雨が降り強風も吹くという荒れた天気でしたが、2日目は晴天に恵まれ、五月晴れの爽やかな天候の中、100人以上もの出場選手達が集団で湖岸道路を走り抜けていく様は圧巻でした。〔JBCF：一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟〕



■ スタート風景 (スターター：犬童所長)



■ レースの様子

木曽川中下流用水総合管理所

○ 所長あいさつ

本年4月に木曽川中下流用水総合管理所長として着任しました津曲（つまがり）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度は豊川用水総合事業部に在籍し、短い期間ではありましたが、関係する皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

木曽川中下流用水総合管理所は、この4月から木曽川用水総合管理所と三重用水管理所が一緒になり、新たな総合管理所となりました。私自身はこれまで両事務所で勤務経験はないものの、中部支社在籍時に関係者の皆様と打合せ等でお会いする機会もあったため、ある意味では久々に帰ってきたとの感覚もあります。

木曽川用水は、昭和58年度から木曽川右岸施設、木曽川大堰、濃尾第二施設を、三重用水は、平成5年度から三重用水施設の管理を、濃尾第二施設では令和4年度から改築事業を実施しております。

これからも、管理業務と改築事業を適切に実施して参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



愛知用水総合管理所

○ 熱中症防止対策にかかる講習会を開催しました

6月に入り既に真夏日に迫る日が発生しています。本格的な夏を迎える前に、労働衛生コンサルタントを講師にお招きし、熱中症防止対策にかかる講習会を6月2日（月）に開催しました。この講習会には愛知用水総合管理所の発注工事を受注していただいている会社の方々にも参加をしていただきました。

熱中症とは何か？から始まり、実際に発生した事例を基に、「なぜ倒れたの」、「どうしたら防げたの」、「普段から準備できることは」などの原因や問題点を整理した説明がありました。

また、6月1日施行された労働安全衛生規則の改正についての説明があり、熱中症を生ずるおそれのある作業を行うときは、発生した場合や疑いのある場合の報告体制の整備とその体制を作業従事者に周知する必要があることの説明がありました。

これから暑い季節を迎えますが、事故防止対策を盛り込んだ作業計画の作成、発注者による現場パトロールの実施、機構発注工事の労働災害等を受注者に周知することにより類似事故発生の防止など労働災害ゼロを目指し取り組んでいきます。



■熱中症防止対策講習会の様子



ブレイクタイム 水に纏わることわざ

【 淀む水には芥たまる 】（よどむみずにはごみたまる）

・水が溜まって流れぬと、やがてごみが集まってきて水が腐るように、世の中も新しい空気を入れ換える必要があると言うたとえ。

揖斐川・長良川総合管理所

○ 揖斐川町と「徳山ダム管理用光ファイバケーブルの利用に関する協定」の締結 (徳山ダム)

岐阜県揖斐川町の徳山ダム上流域(国道417号沿線)における携帯電話等の不感地域を解消し、災害時等における連絡の円滑化、水源地域の活性化に図ることを目的として、4月18日に揖斐川町長と揖斐川・長良川総合管理所長による「徳山ダム管理用光ファイバケーブルの利用に関する協定」締結式を同町役場にて行いました。

本協定の締結により、揖斐川町と当総合管理所は、管下の徳山ダム管理所が設置している管理用光ファイバケーブルの通信事業者からの利用希望に関する情報共有や同事業者との調整を相互に行うことになりました。

徳山ダムはこれからも地域の発展の一助となるよう取り組んで参ります。



■ 締結式の様子



■ (左) 岡部町長 (右) 荒川所長

○ 7年ぶり！！施設見学会の開催！！(長良川河口堰)

揖斐川・長良川総合管理所では、4月26日(土)に長良川河口堰施設見学会を開催しました。

長良川河口堰は、平成7年(1995年)に管理を開始し、今年で30年の節目を迎えました。一般市民の方々を対象とした施設見学会はコロナ禍もあり長い間開催できませんでしたが、コロナも落ち着いたことから、クイズラリーと巡視船体験を合わせて7年ぶり(令和初！！)に開催し、約100名の方々が来場されました。

クイズラリーでは、①受付、②防災資料館アクアプラザながら、③ゲート巻き上げ機室、④魚道観察室の4箇所に説明パネルを置き、職員が長良川河口堰の概要等を説明した内容から解答を導く形式としました。普段は入ることができないゲート巻き上げ機室の見学や、魚

道観察室でのアユの遡上の観察など、参加者の皆様には長良川河口堰についての理解を深めていただけたと思います。

巡視船体験では、観測塔や長良導水取水口、各ゲートの概要や役割を説明し、普段職員がどのように巡視しているのか体験していただきました。当日の受付でしたが、受付開始前には順番待ちの行列ができるほど大人気で、予定していた巡航枠が全て埋まり、老若男女問わず多くの方に参加していただきました。

参加された皆様熱心に見学される姿が印象的で、たくさん質問をいただいたうえ、「河口堰のことが良く分かった」「すごく気持ち良くて良い経験ができた」など満足の声を頂けました。また、クイズラリーの参加賞として長良川河口堰のマグネットと閘門をかたどったペーパークラフトを多くの方に手に取って頂きました。

今回の見学会で頂いた励ましの言葉等を糧に引き続き施設の適正な維持管理に努めて参ります。



■受付に多数の来場者



■小さな子供も多数来場



■巡視船体験の様子



■熱心に見学される来場者
(ゲート巻き上げ機室にて)

○ 長良川の水源涵養に向け苗木の植樹を行いました（長良川河口堰）

鮎を育む清流長良川の水源涵養と山から川、川から海へと続く水圏の源である源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、5月10日（土）に「第15回長良川源流の森 育成事業」が郡上漁業協同組合主催で岐阜県郡上市大和町内の山間部で開催されました。

当日は各種団体など総勢156名の参加者により、トチノキ、ホオノキ、コナラ、カツラ、ヤマザクラ、タムシバの苗木400本が植樹されました。

当機構からは中部支社や揖斐川・長良川総合管理所など合わせて14名の職員が参加し、時折雨がパラつく中、急な斜面を慣れない足取りで息を切らせながら植樹場所にたどりつき、スコップで掘ったあとに1本1本丁寧に植えていきました。

親子での参加もあり子供たちの元気な声が会場に響き渡っていました。

植樹した木々が将来長良川の豊かな流れを育んでくれることを願いながら会場を後にしました。来年は是非参加されてはいかがでしょうか！！



■ 育成事業の看板



■ 今年度採用の二人も元気に植樹



■ 雨の中での植樹作業の様子



■ 植樹に参加した職員

豊川用水総合管理所

○ 宇連ダムで水神祭が挙行了されました

豊川用水が、末永く受益地に水の恵みをもたらすことを願い、宇連ダムに守神として昭和34年5月21日に「貴船神社」が安置され、毎年水神祭が挙行されています。

今年も5月22日（木）に水神祭が挙行され、豊川用水総合管理所から山本所長外7名が参列しました。水神祭での祈りが届き、潤い豊かな1年になることを願っています。



■ のぼり旗



■ 神事の様子



■ 山本所長の玉串奉奠

○ 「しんしろクリーンフェスタ2025 春」に参加しました

5月28日（水）、新城市が「ごみのない美しく住みよいまちづくりの推進」を目的に毎年取り組まれている「しんしろクリーンフェスタ」に参加しました。今回は牟呂用水土地改良区の皆様を始め、当総合管理所、新城管理所、大野管理所から参加し、新城管理所周辺を4ルートに分かれゴミ拾いを行い、合計約14kgのゴミを回収しました。

今後もこのような地域の活動には積極的に参加していきます。



■ ゴミ収集作業の様子



■ 参加者と回収したゴミ

○ 530（ゴミゼロ）運動に参加しました

令和7年度で50周年を迎えた「530運動」は、「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に豊橋市から始まった環境美化活動で、豊川用水総合管理所も毎年参加しています。今年度は6月4日（水）、豊川総合用水土地改良区と当管理所の職員らが合同で参加しゴミ拾いを行いました。

今後も地域を支援し環境に配慮したまちづくりに貢献していきます。



■ ゴミ収集作業の様子



■ 参加者と回収したゴミ



ブレイクタイム 四字熟語

【 熱烈峻厳 】(ねつれつしゅんけん)

- ・ 妥協を許さない厳しさで、情熱を注ぐこと

編集後記

- ・都市用水、農業用水へ必要量の補給をしている豊川水系の宇連ダム、大島ダムの貯水量が低下し4月中旬から節水対策を実施していましたが、5月の降雨により貯水量及び河川流況が回復し、5月30日に対策解除されました。
- ・気象庁の発表によると東海地方は6月9日に梅雨入りしたとのことですが、本紙を編集集中の19日以降の名古屋では連日30度を超え、36度の猛暑の日もあり、これから夏本番となったらどうなるのかと、体調管理に不安を覚えます。
- ・今月号では各事務所での清掃活動等の取組みを紹介しています。また名古屋市におかれては、「環境デーなごや」として一斉クリーンキャンペーンが実施されており、中部支社としてもこの趣旨に賛同し、6月18日に職員約20数名の参加により庁舎前の出来町通りの歩道を中心に清掃活動を実施しました。日頃の通勤路でもあり一見きれいに見えても生け垣に隠れているゴミなどを収集でき、猛暑日ではあったものの夕方に実施したので無事に終えることができました。
- ・さて、本年6月から職場における熱中症を防止するために講ずるべき措置について労働安全衛生規則の一部を改正する省令が施行されましたが、事業者の義務となることから本内容をしっかり認識していきたいと思います。

【担当課：中部支社 総務課】



こまめに水分をとろう

今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

『第205号は、8月下旬に発行する予定です。』

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

- ・ 中部支社： [水資源機構 中部支社](#)
- ・ 木曽川上流ダム総合管理所： [水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所](#)
(阿木川ダム)
岩屋ダム管理所
味噌川ダム管理所
- ・ 木曽川中下流用水総合管理所： [水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所](#)
(木曽川用水)
三重用水管理所
- ・ 愛知用水総合管理所： [水資源機構 愛知用水総合管理所](#)
- ・ 揖斐川・長良川総合管理所： [水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所](#)
(長良川河口堰)
徳山ダム管理所
長良導水管理所
木曽川水系連絡導水路事業推進室
- ・ 豊川用水総合管理所： [水資源機構 豊川用水総合管理所](#)

發行者：水資源機構中部支社



【 方言の意味 】

- ①位置を変える、②いらっしゃい、③大人びる、④いけない、
⑤だから、⑥もろい、⑦着なさい、⑧どいて下さい、
⑨おせっかい、⑩おつかれさま